

(様式2)

平成 25 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570201077		
法人名	社会福祉法人信濃川令終会		
事業所名	第2グループホームこうなん		
所在地	新潟県長岡市渡沢町字早田53番地		
自己評価作成日	平成25年12月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/15/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県社会福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階		
訪問調査日	平成26年2月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①家庭的な雰囲気の中で、入居者の方々が笑顔で過ごしていただけるような場面作りに取り組んでいる。
- ②入居者の方々が思うがままに過ごせるよう、食堂、畳の小上り、アルコープの共用スペースの充実と個々の居室で過ごされる時はプライバシーに配慮して、さりげない見守りや声掛けを行う事で安心して過ごされている。
- ③年間を通じて様々な行事を計画し、四季を感じて頂けるよう演出することで日々の生活の中での楽しみ、生きがいを感じていただけるよう支援している。
- ④買い物、畑仕事、散歩等で外の空気に触れていただき、気分転換を図っている。
- ⑤書道、編み物、塗り絵、折り紙など、手先を使うことや、家事などを役割として行っていただくことで、自立し、張り合いのある生活を支援している。
- ⑥同一敷地内にある特養、ショートステイ、デイサービスと協力して、入所者の馴染み深い利用者の所へ面会に行き、人間関係の継続を支援している。又、ケアハウスまで行き、本を借り、他利用者とは触れ合うことでグループホーム外での人間関係を広げられる様支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

同一敷地内には特別養護老人ホーム、デイサービス、ケアハウスがあり、地域福祉の拠点となっている。グループホームは柔らかい色調の2つの建物がそれぞれのユニットとなっている。利用者一人ひとりの暮らしとともに、各ユニットの個性と利用者同士の交流を大切にしている。事業所内には「アルコープ(壁面の一部を、外部側に突出させて形成される付属的な部屋)」という空間を設け、利用者が談笑したり、リビングの大きな窓から外の景色が眺められる居心地のいい造りになっている。

地震や水害の経験を通じて地域とのつながりが強く、自主防災会との連携協力体制が構築され、地域住民も参加した防災訓練を行っている。また、地域住民のボランティアも多く、お互いの行事には企画運営から携わり、顔の見える関係を築いている。家族との関係にも力を入れており、面会に来やすい雰囲気づくりに取り組み、家族あての手紙には利用者のありのままの姿を報告して情報共有を行っている。家族の面会や行事へ参加、外出の協力も多く得られている。

利用者に生き生きと暮らしてもらうため、本人の出来ること、得意なことを見出し、細部までの記録、情報を職員間で共有し、管理者を中心に職員全員で常に工夫して支援に取り組んでいる事業所である。